



2025 年 11 月 19 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 M E R F
代 表 者 名 代表取締役社長 黒 谷 暁
(コード番号：3168 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画部長 長 谷 川 洋
(TEL. 0766-84-0001)

(訂正・数値データ訂正)

「2025 年 8 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、2025 年 10 月 10 日付で開示いたしました「2025 年 8 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データ (XBRL) にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2025 年 8 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の公表後、記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、訂正を行うものです。

2. 訂正の内容

訂正箇所が複数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月10日

上場会社名 株式会社MERF
コード番号 3168 URL <https://www.merf.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長
定時株主総会開催予定日 2025年11月20日
有価証券報告書提出予定日 2025年11月20日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 黒谷 暁
(氏名) 長谷川 洋
TEL 0766-84-0001
配当支払開始予定日 2025年11月21日

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の連結業績(2024年9月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年8月期	82,463	0.5	117	△91.9	△220	—	△203	—
2024年8月期	82,070	△2.9	1,450	172.1	1,037	355.9	532	212.7

(注) 包括利益 2025年8月期 7百万円 (△98.9%) 2024年8月期 656百万円 (181.9%)

	1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	％	％	％
2025年8月期	△14.37	△2.2	△0.8	0.1
2024年8月期	37.72	5.6	2.0	1.7

(参考) 持分法投資損益 2025年8月期 △24百万円 2024年8月期 △281百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年8月期	25,705	9,218	35.9	652.05
2024年8月期	26,611	9,482	35.6	671.51

(参考) 自己資本 2025年8月期 9,218百万円 2024年8月期 9,482百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	2,322	△1,980	△29	1,637
2024年8月期	827	△206	△172	1,533

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年8月期	—	10.00	—	10.00	20.00	282	53.0	3.0
2025年8月期	—	10.00	—	10.00	20.00	282	—	3.0
2026年8月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		103.2	

3. 2026年 8月期の連結業績予想(2025年 9月 1日～2026年 8月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	39,171	△9.0	300	—	131	—	86	—	6.08
通期	83,144	0.9	744	535.4	407	—	274	—	19.38

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 2 社（社名） CMX Metals、株式会社MERFロジスティクス、除外 1 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期	14,337,200 株	2024年8月期	14,337,200 株
② 期末自己株式数	2025年8月期	200,016 株	2024年8月期	215,916 株
③ 期中平均株式数	2025年8月期	14,131,989 株	2024年8月期	14,116,504 株

(参考)個別業績の概要

2025年8月期の個別業績（2024年9月1日～2025年8月31日）

(1) 個別経営成績 （％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年8月期	78,599	△4.2	△7	—	△208	—	△178	—
2024年8月期	82,070	△2.9	1,436	172.6	1,304	523.4	576	271.6

	1株当たり当期純利益
	円 銭
2025年8月期	△12.60
2024年8月期	40.82

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年8月期	25,076	9,078	36.2	642.16
2024年8月期	25,274	9,287	36.7	657.07

(参考) 自己資本 2025年8月期 9,078百万円 2024年8月期 9,278百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社グループは株式会社MERFを中心として事業を営んでいるため、個別業績の差異理由は連結業績の差異理由とほぼ同一です。そのため、詳細については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により上記予想値と異なる場合があります。業績予想の前提条件等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	12
(会計方針の変更に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	15
(重要な後発事象の注記)	15
4. その他	16
役員の異動	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く外部環境は、国内においては雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復を背景に、緩やかな景気回復が見られました。一方で、長期化する地政学リスクや米国の関税政策、物価上昇の継続、金融資本市場の変動など、景気を下押しする要因もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。銅価格は、ロンドン金属取引所期中平均で前連結会計年度比6.7%高、為替相場は同1.2%ドル安に推移したことにより、期中平均円ベースCash価格では同5.1%高となりました。

このような外部環境のなか、当社グループの主力取扱商品である銅は、値動きが激しく安定的な仕入・販売が難しくなっております。さらに米国の対中国の強硬な関税政策に対抗した輸出管理により、錫やビスマスなどインゴット製造に不可欠な素材価格が急上昇しており、コスト増の要因となっております。

当社グループにおいては、日々の急激な価格変動に伴い供給環境が厳しくなった結果、米国インゴットメーカー「California Metal-X」社（以下CMX社）事業譲受により販売数量はインゴットでは前連結会計年度比17.8%増加したものの、リサイクル原料では同17.3%減少したことにより、全体では同7.4%の減少となりました。また販売費及び一般管理費において、CMX社の買収に係る調査費用や法務手数料など一時的な費用が発生したほか、新規事業として取り組んできた基板事業に係る営業債権に関する損失を計上することとなりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は824億63百万円（前連結会計年度比0.5%増）、営業利益は1億17百万円（同91.9%減）、経常損失は2億20百万円（前連結会計年度は経常利益10億37百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は2億3百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益5億32百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（非鉄金属事業）

非鉄金属事業の主力取扱製品に影響を与えるロンドン金属取引所銅期中平均円ベースCash価格が前連結会計年度比5.1%高く推移したものの、インゴット並びにリサイクル原料の販売量が同7.4%減少したことから当連結会計年度の売上高は819億5百万円（前連結会計年度比0.5%増）となりました。

品目別では、インゴット売上高は355億48百万円（同27.6%増）、リサイクル原料売上高は461億25百万円（同13.9%減）、その他売上高は2億30百万円（同105.5%増）となりました。

（美術工芸事業）

美術工芸事業は、新商品の開発が順調に進んで売上の増加につながり、当連結会計年度の売上高は5億58百万円（前連結会計年度比4.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は212億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億9百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、棚卸資産が17億59百万円、前渡金が4億4百万円増加した一方で、売上債権が28億24百万円、未収消費税等が17億11百万円減少したことによるものであります。

固定資産は44億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億3百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、機械装置及び運搬具（純額）が2億11百万円、リース資産（純額）が4億10百万円、投資有価証券が3億68百万円、長期貸付金が1億51百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は257億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億6百万円減少いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は123億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億72百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、仕入債務が9億3百万円、短期借入金が17億円減少したことによるものであります。固定負債は41億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億30百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、長期借入金が14億73百万円、リース債務が4億1百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は164億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億41百万円減少いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は92億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億64百万円減少いたしました。

その主な要因といたしましては、その他有価証券評価差額金が2億49百万円増加した一方で、利益剰余金が4億85百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は35.9%（前連結会計年度末は35.6%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は16億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は23億22百万円（前年同期は8億27百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前当期純損失が2億16百万円、棚卸資産の増加が14億5百万円、仕入債務の減少が8億14百万円、前渡金の増加が4億4百万円、法人税等の支払額が4億37百万円あった一方、減価償却費が3億81百万円、売上債権の減少が32億2百万円、未収消費税の減少が17億57百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は19億80百万円（前年同期は2億6百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が7億49百万円、事業譲受による支出が11億17百万円あったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は29百万円（前年同期は1億72百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の純減少額が17億円、長期借入金の返済による支出が14億4百万円、配当金の支払額が2億82百万円あった一方、長期借入れによる収入が30億円、セール・アンド・リースバックによる収入が3億61百万円あったためであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期	2025年 8月期
自己資本比率 (%)	36.7	35.8	36.3	35.6	35.9
時価ベースの 自己資本比率 (%)	51.3	33.3	34.1	33.4	30.4
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	—	7.9	16.2	7.8
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	12.7	8.3	12.9

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

(注3) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注4) キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

(注5) 2021年8月期及び2022年8月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、EVなどカーボンニュートラル推進に寄与する製品の需要拡大、AIの普及に伴うデータセンターの建築増など世界的な銅需要の拡大が予想されております。一方中国経済の弱さや、米国経済の減速に対する懸念もあり投機的売買を背景に、市況はボラタイルな推移をたどりつつも上昇傾向にあると見込んでおります。

このような外部環境のなか、当社グループの取り扱っている非鉄金属リサイクル原料は重要な資源との認識の下で、需要が強い状況が続くと判断しており、当社グループにおいても引き続きグローバルな調達確保の強化に向けた施策を取るとともに、設備更新や分析能力の向上により、コスト競争力を維持するよう取り組んでまいります。

また、CMX Metals社においては米国トランプ政権が掲げる「米国生産回帰」を追い風に好業績を遂げており、引き続き堅調な業績推移を見込んでおり、当社グループの業績の下支えとなるものと想定しております。

以上の経済環境により業績の見通しの前提条件は下記を想定しております。

- a. 為替レート（T T M）：145円
- b. 銅価格：9,500ドル
- c. ニッケル価格：15,000ドル
- d. 銅建値：1,427.00円/kg

以上の見通しを踏まえ、翌連結会計年度（2026年8月期）の連結業績見通しにつきましては、連結売上高は831億44百万円（前連結会計年度比0.8%増）、営業利益は7億44百万円（同535.4%増）、経常利益は4億7百万円（前連結会計年度は経常損失2億20百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は2億74百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失2億3百万円）を予想しております。

当該予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化等により業績予想と乖離する結果になりうることをご承知おきください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面、会計基準につきましては日本基準を適用する方針であります。

なお、I F R S 会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,238,544	1,639,166
受取手形	135,988	188,206
電子記録債権	1,776,283	558,732
売掛金	10,019,583	8,360,631
有価証券	296,802	—
商品及び製品	1,806,771	1,462,166
仕掛品	291,412	566,163
原材料及び貯蔵品	3,678,648	5,508,267
前渡金	1,795,130	2,199,569
未収消費税等	2,122,548	411,494
その他	259,615	317,471
流動資産合計	23,421,328	21,211,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	453,820	484,248
機械装置及び運搬具（純額）	512,279	723,922
土地	1,521,121	1,521,121
リース資産（純額）	—	410,332
その他（純額）	79,074	175,797
有形固定資産合計	2,566,297	3,315,423
無形固定資産		
ソフトウェア	37,327	34,725
その他	7,287	86,786
無形固定資産合計	44,614	121,512
投資その他の資産		
投資有価証券	481,238	849,566
長期貸付金	—	151,150
関係会社長期貸付金	0	0
繰延税金資産	64,217	20,627
その他	33,994	35,156
投資その他の資産合計	579,450	1,056,500
固定資産合計	3,190,362	4,493,436
資産合計	26,611,691	25,705,307

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,953,257	2,013,338
電子記録債務	350,587	387,151
短期借入金	9,400,000	7,700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,280,870	1,433,390
リース債務	—	59,209
未払金	308,305	243,926
未払法人税等	416,386	16,300
賞与引当金	67,672	38,335
その他	123,663	436,846
流動負債合計	14,900,742	12,328,498
固定負債		
長期借入金	2,108,107	3,581,646
リース債務	—	401,841
退職給付に係る負債	120,209	120,250
長期前受収益	—	37,541
繰延税金負債	—	17,426
固定負債合計	2,228,316	4,158,706
負債合計	17,129,059	16,487,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	697,952	698,426
利益剰余金	7,423,137	6,937,420
自己株式	△114,966	△104,887
株主資本合計	9,006,123	8,530,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	243,366	493,157
為替換算調整勘定	233,141	193,984
その他の包括利益累計額合計	476,507	687,142
純資産合計	9,482,631	9,218,102
負債純資産合計	26,611,691	25,705,307

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	82,070,144	82,463,458
売上原価	78,949,540	80,130,431
売上総利益	3,120,603	2,333,026
販売費及び一般管理費	1,670,300	2,215,932
営業利益	1,450,302	117,094
営業外収益		
受取利息	1,777	16,731
受取配当金	9,827	13,899
有価証券利息	8,866	15,032
受取保険金	191	2,871
貸倒引当金戻入額	—	62,760
その他	4,726	2,661
営業外収益合計	25,389	113,957
営業外費用		
支払利息	95,071	182,071
持分法による投資損失	281,350	24,254
為替差損	59,961	220,548
その他	1,932	24,438
営業外費用合計	438,316	451,314
経常利益又は経常損失(△)	1,037,376	△220,261
特別利益		
事業譲渡益	5,000	—
負ののれん発生益	—	3,553
特別利益合計	5,000	3,553
特別損失		
貸倒引当金繰入額	97,083	—
特別損失合計	97,083	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	945,293	△216,708
法人税、住民税及び事業税	441,211	41,309
法人税等調整額	△28,422	△54,903
法人税等合計	412,788	△13,594
当期純利益又は当期純損失(△)	532,504	△203,114
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	532,504	△203,114

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	532,504	△203,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,042	249,791
為替換算調整勘定	36,292	△38,876
持分法適用会社に対する持分相当額	6,527	△281
その他の包括利益合計	123,862	210,634
包括利益	656,367	7,520
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	656,367	7,520
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	697,121	7,172,924	△125,755	8,744,290
当期変動額					
剰余金の配当			△282,291		△282,291
親会社株主に帰属する 当期純利益			532,504		532,504
自己株式の処分		831		10,788	11,620
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	831	250,213	10,788	261,833
当期末残高	1,000,000	697,952	7,423,137	△114,966	9,006,123

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	162,323	190,322	352,645	9,096,936
当期変動額				
剰余金の配当				△282,291
親会社株主に帰属する 当期純利益				532,504
自己株式の処分				11,620
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	81,042	42,819	123,862	123,862
当期変動額合計	81,042	42,819	123,862	385,695
当期末残高	243,366	233,141	476,507	9,482,631

当連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	697,952	7,423,137	△114,966	9,006,123
当期変動額					
剰余金の配当			△282,602		△282,602
親会社株主に帰属する 当期純損失（△）			△203,114		△203,114
自己株式の処分		473		10,079	10,553
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	473	△485,716	10,079	△475,163
当期末残高	1,000,000	698,426	6,937,420	△104,887	8,530,960

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	243,366	233,141	476,507	9,482,631
当期変動額				
剰余金の配当				△282,602
親会社株主に帰属する 当期純損失（△）				△203,114
自己株式の処分				10,553
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	249,791	△39,157	210,634	210,634
当期変動額合計	249,791	△39,157	210,634	△264,529
当期末残高	493,157	193,984	687,142	9,218,102

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	945,293	△216,708
減価償却費	237,656	381,980
負ののれん発生益	—	△3,553
受取利息及び受取配当金	△20,471	△45,663
支払利息	95,071	182,071
持分法による投資損益(△は益)	281,350	24,254
為替差損益(△は益)	△98,850	266,226
貸倒引当金の増減額(△は減少)	97,083	43,852
売上債権の増減額(△は増加)	△1,735,178	3,202,295
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,411,334	△1,405,156
仕入債務の増減額(△は減少)	615,269	△814,948
前渡金の増減額(△は増加)	△401,953	△404,438
未収消費税等の増減額(△は増加)	△481,029	1,757,060
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	△106,612
その他	△7,230	34,629
小計	938,344	2,895,289
利息及び配当金の受取額	21,315	44,968
利息の支払額	△95,048	△180,383
法人税等の支払額	△72,203	△437,061
法人税等の還付額	35,589	104
営業活動によるキャッシュ・フロー	827,997	2,322,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,506	△0
定期預金の払戻による収入	239,917	—
貸付けによる支出	—	△175,357
貸付金の回収による収入	—	19,050
関係会社貸付けによる支出	△119,160	—
関係会社貸付金の回収による収入	28,630	65,850
有形固定資産の取得による支出	△267,961	△749,195
無形固定資産の取得による支出	△20,084	△19,217
投資有価証券の取得による支出	△3,739	△3,820
事業譲受による支出	—	△1,117,939
その他	△23,200	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,105	△1,980,561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	△1,700,000
長期借入れによる収入	1,400,000	3,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,189,839	△1,404,118
リース債務の返済による支出	—	△4,829
セール・アンド・リースバックによる収入	—	361,874
配当金の支払額	△282,448	△282,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,287	△29,595
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,862	△208,772
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	471,466	103,987
現金及び現金同等物の期首残高	1,062,215	1,533,681
現金及び現金同等物の期末残高	1,533,681	1,637,668

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

当連結会計年度より、新たに設立したCMX Metals及び株式会社MERFロジスティクスを連結の範囲に含めております。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。これによる前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、インゴットの製造・販売及びリサイクル原料の加工・販売を行う非鉄金属事業と美術工芸品の製造・販売を行う美術工芸事業の2つの事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	81,533,599	536,544	82,070,144	—	82,070,144
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	81,533,599	536,544	82,070,144	—	82,070,144
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	718	718	△718	—
計	81,533,599	537,262	82,070,862	△718	82,070,144
セグメント利益	1,384,697	65,605	1,450,302	—	1,450,302
セグメント資産	21,514,416	1,149,572	22,663,989	3,947,701	26,611,691
その他の項目					
減価償却費	226,500	11,155	237,656	—	237,656
持分法適用会社への投資額	0	—	0	—	0
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	384,290	3,859	388,149	—	388,149

(注) 1. セグメント資産の調整額3,947,701千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に現金及び預金、投資有価証券等の本社部門に係る資産であります。

2. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	<u>81,905,458</u>	558,000	<u>82,463,458</u>	—	<u>82,463,458</u>
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	<u>81,905,458</u>	558,000	<u>82,463,458</u>	—	<u>82,463,458</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	<u>81,905,458</u>	558,000	<u>82,463,458</u>	—	<u>82,463,458</u>
セグメント利益	14,473	102,621	117,094	—	117,094
セグメント資産	22,277,368	1,267,031	23,544,400	2,160,907	25,705,307
その他の項目					
減価償却費	<u>372,697</u>	9,283	<u>381,980</u>	—	<u>381,980</u>
持分法適用会社への投資額	0	—	0	—	0
有形固定資産及び無形固定資産の増加額 (注) 3	850,635	13,472	864,107	—	864,107

(注) 1. セグメント資産の調整額2,160,907千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に現金及び預金、投資有価証券等の本社部門に係る資産であります。

2. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

3. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、企業結合による資産の増加は含めておりません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	671.51円	652.05円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	37.72円	△14.37円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	9,482,631	9,218,102
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	9,482,631	9,218,102
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	14,121,284	14,137,184

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	532,504	△203,114
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	532,504	△203,114
普通株式の期中平均株式数(株)	14,116,504	14,131,989

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

- ① 代表取締役の異動
該当事項はありません。
- ② その他役員の異動
該当事項はありません。